N

CASIO

P

200件のテレメモ/50件のURLメモ記憶/8桁計算
アラーム/ストップウオッチ

1491

取扱説明書

1491

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったキー操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

■本機の特長

- ●電池が消耗しても、入力したテレメモやURLメモデータが保持されるメモリー（EEPROM）を使用しています。
- ●ELバックライト…暗いところでも表示を明るく照らします。
- ●画面にさわるだけで操作できるタッチスクリーンを使用しています。
- ●テレメモ…名前1件につき、電話番号、携帯番号、FAX番号をそれぞれ2本ずつとE-MAILアドレスを1本記憶できます。
- ●URLメモ…ホームページのアドレスなど記憶できます。
- ●その他、8桁計算機能、時刻アラーム、時報、ストップウオッチ機能が付いています。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。
電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

⚠注意

お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となることがあります。
万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。



データ控を作ってください

記憶させた内容は、付属の備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。



目　次

安全上のご注意
データの保護について …… 4
本機をご使用になる前に …… 5
操作のしくみと表示の見方 …… 6
ライト点灯について …… 8
デモ表示について …… 8
メモリーについて …… 9
文字／数字の入れ方 ……10
■文字入力について……10
■数字入力について……11
テレメモの使い方 ……12
■テレメモデータを探す ……12
（●インデックスサーチ） ……13
■テレメモデータ入力 ……14
■テレメモデータ修正 ……15
■テレメモデータ消去 ……15
URLメモの使い方……16
■URLメモデータを探す ……16
■URLメモデータ入力……17
■URLメモデータ修正……18
■URLメモデータ消去……18
アラーム・時報の使い方 ……19
計算機能の使い方 ……20
■操作確認音のON／OFF ……21
ストップウオッチの使い方 ……21
時刻・カレンダーの合わせ方……22

（付録）
■メモリー件数について ……24
■Q&A……25
備忘録 ……26
製品仕様 ……27
ご使用上の注意……28
お手入れについて……29
電池交換について……30

■データの保護について

●本機は電池が消耗しても記憶させた内容が保持されるメモリー（EEPROM）を採用しておりますが、以下の場合には、記憶内容が消えたり、変化することがありますのでご注意ください。

・本体を分解したとき
・故障・修理のとき
・極度の静電気や衝撃を与えたとき
・極端な外的環境下（特に低温下）で使用したとき
・電池交換の方法をまちがえたとき

●「万一の事故」、「故障・修理」、「腕時計本体の紛失・盗難」などのときのために、特に重要なデータについては必ず「名刺など元になるものを残しておく」か、「別のノートなどに控えておく」などして控えを残しておいてください。

※付属の備忘録を利用すると便利です。

〈お願い〉

電池が消耗すると、“BATT”マークが表示され、メモリーしたデータを見ることができなくなります（30ページ参照）。“BATT”マークが表示されるときは、お早めに電池交換されることをおすすめします。なお、電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンター（裏表紙に記載）にお申し付けください。

本機を使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり、変化したことで生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

本機をご使用になる前に

■タッチスクリーンについて

本機は「タッチスクリーン」で操作が行なうことができます。操作の際は以下の点にご注意ください。

- ●本機のキー操作は「指先」で行なってください。ボールペンなど先のとがった器具で押すと、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- ●本機の表面部は、ガラス面の上にタッチスクリーンを重ねたものです。そのため、見る角度によっては「透明電極やニジミ（ニュートリング現象）」が見えることがありますが、機能上の支障はありません。
- ●+60℃以上のところに本機を長時間放置すると、キー（タッチスクリーン）に不具合を与えることがあります。
- ●本機は防水構造ではありません。多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- ●温度が高いところや標高が高いところでは、タッチスクリーンがふくらむことがあります。元の温度、標高になれば戻ります。タッチスクリーンがふくらんでいても、機能上の支障はありません。
- ●タッチスクリーンは、押し方によっては隣のキーに入ることもありますので、1つ1つ確実にゆっくり押してください。
- ●タッチスクリーンは、押している時間によって操作内容が変わりますのでご注意ください。

例）テレメモモードのE-MAIL、URLメモモードのアドレス訂正のとき、

・Ⓓキーを押す→文字が1文字分削除されます（デリート）

・Ⓓキーを約2秒間押す→データが1件分削除されます

（15ページ「テレメモデータ修正」、18ページ「URLメモデータ修正」参照）

■タッチスクリーンの操作について

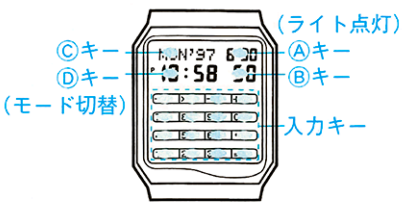
本機は、画面上のキーを押して操作を行ないます。それぞれのキーの位置は以下のとおりです。

※タッチしたいキーの　部分にあたる所（下図参照）をめがけて、指の腹をたててスクリーンに触れていただくと、キーが効きやすくなっております。

※キーを押すと操作確認音が鳴ります。キーを押しても音が鳴らないときは操作確認音が“OFF”になっている可能性があります。（21ページ「■操作確認音のON／OFF」参照）

（例：時刻モードのとき）

※入力キーの表示内容は各モードにより異なります。



＜正しい操作＞
指の腹をたててスクリーンに触れるように操作する。

＜誤った操作＞
指の腹をねかせてスクリーンを強く押して操作する。



1 操作のしくみと表示の見方

Ⓓキーを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

本機は、画面上のキーを押して操作を行ないます。

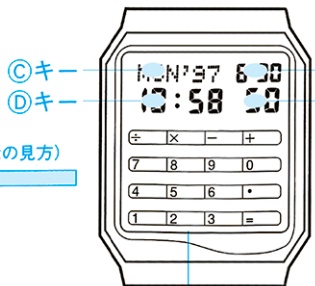
※テレメモ、URL、アラームの各モードでは、それぞれの表示のまま２～３分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。
※各モードでⒹキーを約３秒間押すとデモ表示になります。
※モード切り替え時の操作確認音の有無は21ページ「操作確認音のON／OFF」を参照してください。

時刻・カレンダーモード

約0.5秒間押す Ⓓ

（曜日の見方）

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

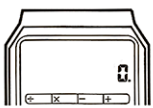


（表示の見方）



入力キー

Ⓑキーを約１秒間押すと直接計算モードになります。



Ⓓ

テレメモモード



☞ 12ページ参照

Ⓓ

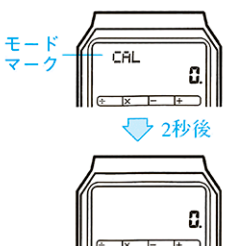
URLメモモード



☞ 16ページ参照

Ⓓ

計算モード



☞ 20ページ参照

Ⓓ

アラームモード



☞ 19ページ参照

Ⓓ

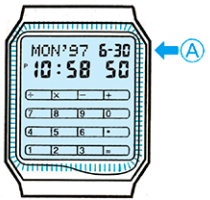
ストップウオッチモード



☞ 21ページ参照

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓐキーを押すと文字盤が1～2秒間発光します。



※文字盤発光中にⒶキーを押すと、その時点から引き続き1～2秒間発光します。ただし、Ⓐキーを1～2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。

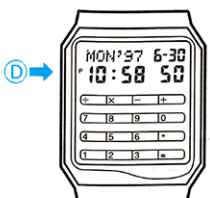
＜ご注意＞

- 直射日光の下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ（デモンストレーション）機能*」に設定されています。
（デモ機能中はモード切替等の操作はできません）
*「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

- デモ機能の解除…Ⓓキーを約3秒間（確認音が鳴るまで）押し続けます。
- デモ機能の設定…解除するときと同様にⒹキーを約3秒間押し続けます。

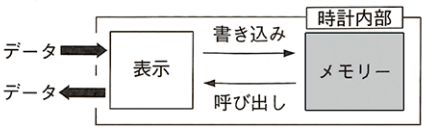


2 メモリーについて

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。

■メモリーのしくみ

本機は、電池が消耗しても、入力したデータを保持できるメモリー（EEPROM）を使用しています。本機にデータを入力すると、自動的にメモリー（EEPROM）に書き込みます。データを探すときは、このメモリーから該当のデータを呼び出し、表示します。



■保持されるデータ

以下のデータは電池が消耗しても消去されません。

・テレメモ…… 名前／電話番号、携帯番号、FAX番号、E-MAILアドレス
・URLメモ…… 名前／アドレス

※各モードのデータについて詳しくは各機能の項目をご覧ください。

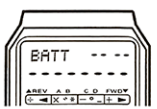
■電池が消耗すると（電池切れ予告機能）

電池の消耗時期が近づくと、下図のような“電池切れ予告表示”となります。操作時に、この表示になるときは、お早めに電池交換を行なってください。

※電池交換は、必ずお買い上げ、または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

電池切れ予告中にデータ呼び出し、入力などの操作を行なうと、“BATT”表示後、空ページ表示となります。このとき、データ呼び出し、入力操作はできなくなります。また、アラーム・時報や操作確認音の報音、ライト点灯は行ないません。（30ページ参照）

“BATT”表示



（テレメモモードのとき）

3 文字／数字の入れ方

データセットのとき、入力キーで簡単に文字や数字が入れられます。

■文字入力について

テレメモモードの名前部、E-MAILアドレス部やURLメモモードの名前部、アドレス部に文字が入れられます。

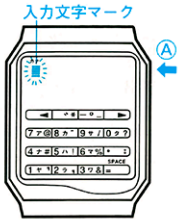
●文字の入れ方

(1)各モードでセット表示にします。
※セット表示にするには、各モードでの項目をご覧ください。

(2)文字の種類を選ぶ

Ⓐキーを押します

→Ⓐキーを押すごとに入力文字マークが「カナ→A→a→カナ…」の順で切り替わります。



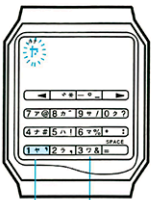
※入力できる文字は以下のとおりです。

“カナ”…カタカナ（ア～ン、小文字ァィゥェォッャュョ、゛、゜、ー）、数字（0～9）、記号（＊、－、_、@、～、／、？、＃、！、％、、、：、’、,、＆、＝）
“A”　…英大文字（A～Z）、数字（0～9）、上記の記号
“a”　…英小文字（a～z）、数字（0～9）、上記の記号

(3)文字を入力する

入力キーを押して表示させたい文字を選びます

→入力キーを押すごとに、そのキーに表示されている文字が順番に切り替わります。



例）1ヤ’キーを押すごとに、
ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ→1→’→ヤ→…

(4)表示させたい文字を選んだら、►キーを押してセット箇所（点滅）を右の桁に移動させます。
※◄キーを押すと左に移動します。

上記(2)から(4)の操作を繰り返して文字を入力していきます。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■数字入力について

テレメモモードの電話番号部、携帯番号部、FAX番号部およびアラーム、時刻・カレンダーに数字が入れられます。

※入力できる数字は、0～9、－（ハイフン）、スペースです。

●数字の入れ方

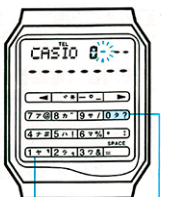
(1)各モードでセット表示にします。

※セット表示にするには、各モードでの項目をご覧ください。

(2)数字を入力する

入力キーを押して表示させたい数字を選びます

→入力キーを押すとそのキーに表示されている数字が入力できます。



※このとき入力キーに各種記号が表示されますが、入力できるのは数字のみです。

※数字を入力すると、セット箇所（点滅）が右に1つ移動します。

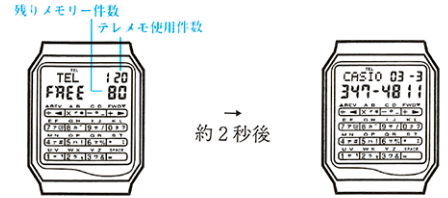
※押し間違えたときは ◄ キーを押して点滅を左に移動させます。

※点滅表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

4 テレメモの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓキーを押してテレメモモードにします。

テレメモモードに切り替えた直後は、残りメモリー件数を表示後、前回テレメモモードで最後に見たデータの名前と入力されている最初のメモ内容を表示します。



■テレメモ機能について

テレメモモードでは名前1件につき電話番号、携帯番号、FAX番号をそれぞれ2本ずつとE-MAIL*アドレスを1本記憶できます。記憶できる件数は「名前8文字＋数字12桁」で200件です。なお、1件ごとの内容によって記憶できる総件数は変わります（詳しくは24ページ「付録」参照）

*E-MAIL（electronic mail）とは、パソコンを使ってメッセージを送る機能です。

データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート）が行なわれます。
自動ソート…記憶されたデータは名前部の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、カタカナ（ア～ン）、英大文字（A～Z）、英小文字(a～z)、数字（0～9）、各種記号の順です。

■テレメモデータを探す



(1)見たいデータ（名前）を探す
テレメモモードのとき、

[+ ►] キーを押します

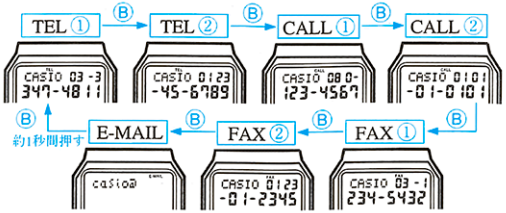
→押すごとにテレメモデータが順番に表示されます。

※ [÷ ◄] キーを押すと逆方向に進みます。
※いずれもキーを押し続けると早く進みます。

(2)メモ内容（電話番号など）を切り替える
見たいデータ（名前）が表示されたら、

Ⓑキーを押します

→押すごとにメモ内容が以下の順で切り替わります。



※上図の①、②は実際には表示されませんので操作確認音または表示の切り替わりで確認してください。

※入力したデータのみ表示します。
※E-MAILアドレスを7文字以上入力しているときは右から左へスイープ表示されます。スイープ中にⒷキーを押すと先頭の6文字を表示してスイープが止まり、Ⓑキーを押すごとに6文字ずつ表示します。
※E-MAILアドレス表示のときⒷキーを約1秒間押すと、先頭のメモ内容に戻ります。

●インデックスサーチ

名前の頭文字を選ぶと知りたいデータが表示される機能です。

(1)テレメモモードのとき、

入力キーのいずれかを約1秒間押します

→インデックスサーチ表示になります。
※ [+ ►] 、 [÷ ◄] キーを押してもインデックスサーチ表示にはなりませんのでご注意ください。

"SEARCH" の略



(2) Ⓐキーで入力文字の種類を選びます

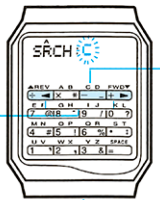
→Ⓐキーを押すごとに入力文字マークが「カナ→A→a→カナ…」の順で切り替わります。



(3) 入力キーで名前の頭文字を選びます

※選べる頭文字は1文字となります。

頭文字 "C" を選ぶ



(4) [+ ►] または [÷ ◄] キーを押します

→その頭文字の先頭にあるデータの名前と入力されている最初のメモ内容が表示されます。



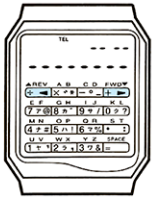
※該当データが入力されていないときは "NODATA" 表示となります。このときはⒹキーを押すとテレメモモードに戻ります。

・同じ頭文字のデータが複数あるときは、先頭のデータ表示後、[+ ►] または [÷ ◄] キーを押してデータを検索してください。
・空白([=])を選んで [+ ►] または [÷ ◄] を押すと空ページが表示されます。

■テレメモデータ入力

(1)データ選択
テレメモモードのとき、

[+►] または [÷◄] キーを押して、空白ページ（右図）表示にします。



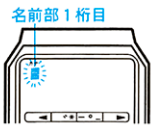
（空ページ）

※インデックスサーチで“空白”を選んでも空ページ表示になります。

★“FULL” 表示になるときは…
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。
（「■テレメモデータ消去」参照）

(2)セット表示にする

Ⓒキーを約1秒間押します



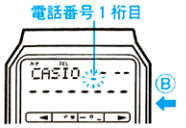
→名前部の1桁目が点滅します。

(3)データ（名前）を入れる
10ページ「●文字の入れ方」を参照して名前を入力します。
※最大8文字まで入力できます。

アルファベットのO（オー）を数字の0（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を使うと正しく並び替え（自動ソート）されませんのでご注意ください。

(4)メモ内容を入れる
名前部入力後、

Ⓑキーを押して入力したいメモ内容を表示させます



→Ⓑキーを押すごとにメモ内容が「TEL①→TEL②→CALL①→CALL②→FAX①→FAX②→E-MAIL」の順で切り替わります。
※E-MAILセット表示のときにⒷキーを約1秒間押すと点滅が名前部1桁目に戻ります。

★電話番号、携帯番号、FAX番号を入力するときは…
11ページ「●数字の入れ方」を参照して番号部を入力します。
※最大12桁まで入力できます。

★E-MAILを入力するときは…
10ページ「●文字の入れ方」を参照してデータを入力します。
※最大46文字まで入力できます。

(5)すべての入力が終わりましたら、

Ⓒキーを押します

→自動ソートが行なわれ、セット表示（名前部1桁目が点滅）になります。なお、続けて他のデータを入力できます。
※もう一度Ⓒキーを押すと点滅が止まります。
※セット表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

■テレメモデータ修正

(1)テレメモモードのとき、修正したいデータを [+►] または [÷◄] キーを押して選びます。

(2)Ⓒキーを約1秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

※メモ内容を修正するときは、セット表示にした後、Ⓑキーを押して修正したいメモ内容を表示させます。



(3) [►] キーで点滅を移動させ、正しく入れ直します。

★デリート機能
E-MAILのアドレス部修正のとき、Ⓓキーを押すと点滅箇所の文字を1文字分削除することができます。
※Ⓓキーを約2秒間押すとデータが1件消去されますのでご注意ください。

(4)データ修正後、Ⓒキーを押します。

■テレメモデータ消去

(1)テレメモモードのとき、消去したいデータを [+►] または [÷◄] キーを押して選びます。

(2)Ⓒキーを約1秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

(3)Ⓓキーを約1秒間押すと、“CLR”表示が点滅し、さらに約1秒間押すと操作確認音が鳴りデータが消去されます。

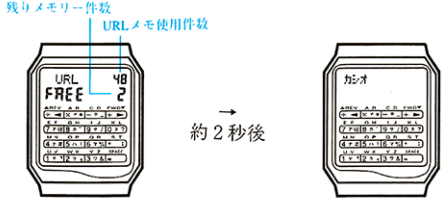


(4)データ消去後、Ⓒキーを押します。

5 URLメモの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓキーを2回押してURLメモモードにします。

URLメモモードに切り替えた直後は、残りメモリー件数を表示後、前回URLメモモードで最後に見たデータを表示します。



■URLメモ機能について

URL*メモモードではホームページのアドレスなど記憶できます。記憶できる件数は「名前16文字＋アドレス78文字」で50件です。

*URL（Uniform Resource Locators）とは、ホームページを指定する方法です。

本機はソフトバンク株式会社、Yahoo! Internet Guide編集部が厳選した’96年10月時点での人気サイト50の中から、先方の許諾をいただいたアドレスを搭載しました。

※内容は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

■URLメモデータを探す

(1) 見たいデータ（名前）を探す

URLメモモードのとき、

[+ ►] キーを押します

→押すごとにURLメモデータが順番に表示されます。

※ [+ ◄] キーを押すと逆方向に進みます。

※いずれもキーを押し続けると早く進みます。



(2) メモ内容（アドレス）を表示させる

見たいデータ（名前）が表示されたら、

Ⓑキーを約1秒間押します

→アドレス表示に切り替わります。



※アドレスを7文字以上入力しているときは右から左へスイープ表示されます。スイープ中にⒷキーを押すと先頭の6文字を表示してスイープが止まり、Ⓑキーを押すごとに6文字ずつ表示します。

※もう一度Ⓑキーを約1秒間押すと、名前表示に切り替わります。

■URLメモデータ入力

(1)データ選択
URLメモモードのとき、

[+ ►] または [÷ ◄] キーを押して、空白ページ（右図）表示にします。



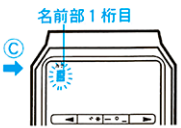
（空ページ）

★“FULL” 表示になるときは…
すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから再度セットを行なってください。
（「■URLメモデータ消去」参照）

(2)セット表示にする

Ⓒキーを約1秒間押します

→名前部の1桁目が点滅します。



(3)データ（名前）を入れる
10ページ「●文字の入れ方」を参照して名前を入力します。
※最大16文字まで入力できます。

アルファベットのO（オー）を数字の0（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を使うと正しく並び替え（自動ソート）されませんのでご注意ください。

(4)名前部入力後、

Ⓑキーを約1秒間押します



→アドレス部1桁目が点滅します。
※もう一度Ⓑキーを約1秒間押すと点滅が名前部1桁目に戻ります。

(5)メモ内メモ内容（アドレス）を入れる
10ページ「●文字の入れ方」を参照してアドレスを入力します。
※最大78文字まで入力できます。

(6)すべての入力が終わりましたら、

Ⓒキーを押します

→自動ソートが行なわれ、セット表示（名前部1桁目が点滅）になります。なお、続けて他のデータを入力できます。
※もう一度Ⓒキーを押すと点滅が止まります。
※セット表示のまま2～3分すると自動的に点滅が止まります。

■URLメモデータ修正

(1)URLメモモードのとき、修正したいデータを [+►] または [÷◄] キーを押して選びます。

(2)Ⓒキーを約1秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。



※アドレス部を修正するときは、セット表示にした後、Ⓑキーを約1秒間押してアドレス部を表示させます。

(3) [►] キーで点滅を移動させ、正しく入れ直します。

★デリート機能
アドレス部修正のとき、Ⓓキーを押すと点滅箇所の文字を1文字分削除することができます。
※Ⓓキーを約2秒間押すとデータが1件消去されますのでご注意ください。

(4)データ修正後、Ⓒキーを押します。

■URLメモデータ消去

(1)URLメモモードのとき、消去したいデータを [+►] または [÷◄] キーを押して選びます。

(2)Ⓒキーを約1秒間押してセット表示（名前部1桁目が点滅）にします。

(3)Ⓓキーを約1秒間押すと、“CLR”表示が点滅し、さらに約1秒間押すと操作確認音が鳴りデータが消去されます。



(4)データ消去後、Ⓒキーを押します。

6 アラーム・時報の使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓキーを4回押してアラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

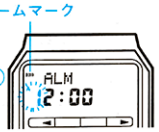
■アラーム時刻のセットのしかた

(1)セット表示にする

アラームモードのとき、

Ⓒキーを約1秒間押します

→“))) ”マークが点灯し、10時台が点滅します。



※アラーム時刻セット時に、[►] または [◄] キーを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。

(2)アラーム時刻のセット

入力キーで、セットしたい時刻を選びます

例) 8時 5分…「0805」
10時55分…「1055」



★午前／午後切り替え

時刻が点滅しているときに、[PM] キーを押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

※時刻・カレンダーモードでの現在時刻を24時間制表示にしているときは(22ページ参照)、アラーム時刻も24時間制となります。

(3)セット後、点滅を止めるには

Ⓒキーを押します

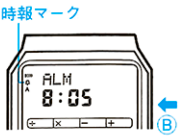
※アラーム時刻セットのまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

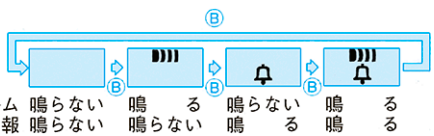
■アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、

Ⓑキーを押します

押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順に点灯／消灯をくりかえします。





※なお、[+] キーまたは [÷] キーを押し続けると、押している間、電子音が鳴り、アラーム音を試しに聞くことができます。

★鳴っている電子音を止めるには

ⒶⒷⒸⒹキーおよび入力キーのいずれかを押します。

7 計算機能の使い方

時刻・カレンダーモードのときⒹキーを3回押して、計算モードにします。なお、時刻・カレンダーモードのときⒷキーを約1秒間押しても直接計算モードになります。

計算は置数、答えとも8桁（負数は7桁）で数式通りに計算できます。[+]、[−]、[×]、[÷]の各キーを押すとそれぞれ計算過程（＋、－、×、÷）が確認できます。

■基本計算

数式通りに操作できます。

例　題	操　作	表示窓
53+123−63=113	53 [+] 123 [−] 63 [=]	53. 176. 113.
2.3x6x5.2=71.76	2.3 [×] 6 [×] 5.2 [=]	71.76
89÷56=1.5892857	89 [÷] 56 [=]	1.5892857
963x(23−56)=−31779	23 [−] 56 [×] 963 [=]	−31779.
(56x3−89)÷5.2+63 =78.192307	56 [×] 3 [−] 89 [÷] 5.2 [+] 63 [=]	78.192307
123456x741852 ≒915億86080000	123456 [×] 741852 [=]	915.8608E 億の位 エラー

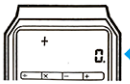
■定数計算

置数の後に[+]、[−]、[×]、[÷]の各キーを2回押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）同じ数を使った計算が簡単にできます。

例　題	操　作	表示窓
12+23=35 45+23=68	23 [+] [+] 12 [=] 45 [=]	+K 35. +K 68.
7−5.6=1.4 2−5.6=−3.6	5.6 [−] [−] 7 [=] 2 [=]	−K 1.4 −K −3.6
2.3x12=27.6 4.5x12=54	12 [×] [×] 2.3 [=] 4.5 [=]	xK 27.6 xK 54.
45÷9.6=4.6875 78÷9.6=8.125	9.6 [÷] [÷] 45 [=] 78 [=]	÷K 4.6875 ÷K 8.125
17+17+17+17=68	17 [+] [=] [=] [=]	+K 68.
$(2.3)^4$=27.9841 (または“$(2.3^2)^2$”として →	2.3 [×] [×] [=] [=] [=] 2.3 [×] [=] [×] [=])	xK 27.9841

■計算途中の訂正のしかた

計算途中に数字を押し間違えたときは、Ⓑキーを押してから、正しい数値を入力します。



※Ⓑキーを押すと、そのとき表示されている数値が消去され、それまでの計算に支障なく引き続き計算が行なえます。また、＋、－、×、÷キーを押し間違えたときは、引き続き正しいキーを押してください。

計算が終わりましたら、Ⓓキーを押して時刻・カレンダーモードに戻します。
※計算モードのまま、6～7分すると自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

■操作確認音のON／OFF

計算モードのときに、

Ⓒキーを押します

Ⓒキーを押すごとに操作確認音のON/OFFが切り替わります。



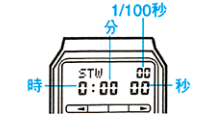
※ONのときは操作確認音が鳴り、OFFのときは操作確認音が鳴りません。

操作確認音…モード切り替え、計算時のキー操作など行なったときに鳴る電子音

8 ストップウオッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに、Ⓓキーを5回押してストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測し続けます。



■計測のしかた

●通常計測

スタート　ストップ　リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに ► キーを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

計測中に ◄ キーを押すと「スプリットタイム計測」となり、以下のような計測も行なえます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着のタイム計測

スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

※ ► ・ ◄ キーとも、それぞれ押すと操作確認音が鳴ります。（操作確認音をOFFにしていても鳴ります）

9 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの調整

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒキーを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。



(2)時報に合わせて

0 キーを押します

→00秒からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって00秒からスタートします。
※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)点滅を止めるには、

Ⓒキーを押します

※秒セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1)時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓒキーを約1秒間押します

→「秒」が点滅します。



(2)時刻セット表示にする

► キーを押します

→10時台が点滅します。



★12／24時間制表示切り替え
時刻セット表示のとき、Ⓑキーを押すごとに12時間制表示(午前A／午後P)と24時間制表示とが切り替わります。

※時刻セット時に、► または ◄ キーを押すと点滅箇所が移動し、セット箇所が選べます。
押し間違えたときや、時刻を修正するときなどに便利です。
なお、いずれも押し続けるとそれぞれ早送りします。

(3)時刻・カレンダーのセット

入力キーで、セットしたい時刻・カレンダーを選びます

例）１９９７年１月２２日
８時２５分のときは、
「０８２５９７,０１２２」
と押します。



午前／午後切り替え

★午前／午後切り替え

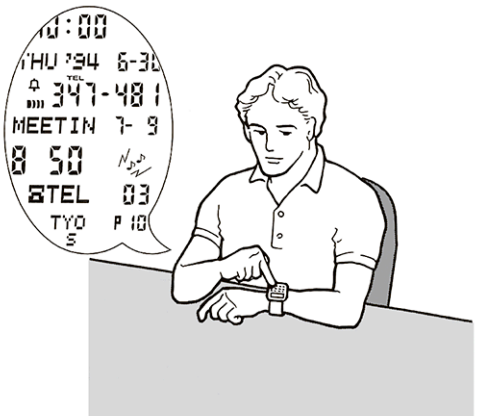
時刻が点滅しているときに、PM キーを押すごとに午前(A)／午後(P)が切り替わります。

(4)セット後、点滅を止めるには

Ⓒキーを押します

※セット表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

・カレンダーは1995年１月１日から2094年12月31日までセットできます。なお曜日は、年月日を合わせると自動的にセットされます。
・カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。



付録

■メモリー件数について

本機は、1件あたりのデータ量によって、メモリーできる総件数が変わります。

※1件のデータが「名前8文字＋数字12桁」のときは、最大200件までメモリーすることができます。ただし、1件のデータをこれより多く入力したときは、メモリーできる総件数は少なくなります。(以下の表参照)

データ量			換算件数*	最大入力可能件数
名前	数字	E-MAIL		
8文字	ーー	ーー	1	200
8文字	12桁×1	ーー	1	200
8文字	12桁×2	ーー	2	100
8文字	12桁×3	ーー	2	100
8文字	12桁×4	ーー	3	66
8文字	12桁×5	ーー	3	66
8文字	12桁×6	ーー	4	50
8文字	12桁×6	7文字	4	50
8文字	12桁×6	15文字	5	40
8文字	12桁×6	23文字	5	40
8文字	12桁×6	31文字	6	33
8文字	12桁×6	39文字	6	33
8文字	12桁×6	46文字	7	28

*換算件数とは、「名前8文字＋数字12桁」のデータ量を1としたときに換算される件数
例)「名前8文字＋数字12桁×2」のデータは2件分

■Q&A

Q1 どうして電池が消耗してもデータが保持されるのですか？

A データメモリー部に、メモリー保持のための電源を必要としないEEPROM*を使用しているからです。
ただし、このメモリー部に対して、極度の静電気や衝撃を与えたり、極端な外的環境下（特に低温下）で使用した場合、データが変化したり、消えてしまったりすることがありますのでご注意ください。
セットしたデータは必ず他のノートなどに控えておくことをおすすめします。

*EEPROM＝Electric Erasable Programable Read Only Memoryの略

Q2 操作確認音が鳴らないのですが？

A 操作確認音が“OFF”になっているからです。ボタン操作時に操作確認音を鳴らしたいときは、計算モードに切り替え、左上の©キーを1回押して、操作確認音ONの状態にします。ただし、電池消耗の時期が近づいたときにも、操作確認音が鳴らなくなりますので、このときは、お早めに電池交換を行なってください。

※操作確認音のON／OFFについては21ページ「操作確認音のON／OFF」参照。

Q3 “BATT”マークが表示されるのですが？

A これは、電池容量が減り消耗時期が近づいていることを知らせる合図です。この表示が出たときは、お早めに電池交換を行なってください。なお、このときはテレメモ、URLメモデータの呼び出し／入力およびライト点灯、時刻アラーム・時報、操作確認音の報音は行ないません。

Q4 電池交換はどこで行なえば良いですか？

A 電池交換は、本機をお買い求めになった販売店、または本書巻末に記載のカシオサービスセンターにお申し付けください。
むやみに裏蓋を開けたり、電池交換を行なったりすると、入力したデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

備忘録

万一に備え、メモリーしてあるデータをこの備忘録にメモしておくことをおすすめします。
※足りない場合はコピーしてお使いください。

name	TEL	CALL	FAX	

製品仕様

※仕様およびデザインは改良のため予告なしに変更することがあります。

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表 示 方 式：FE型液晶デジタル表示
基 本 機 能：時・分・秒・年・月・日・曜日
午前(A)／午後(P)／24時間制表示、フルオートカレンダー（1995～2094年）
テレメモ機能：名前と電話番号などを最大200件までメモリー
※メモリー件数は1件あたりのデータ量によって変わります。
URLメモ機能：名前とアドレスを最大50件までメモリー
計 算 機 能：8桁加減乗除、四則定数計算、計算状態表示、操作確認音ON／OFF
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分
電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報知

ストップウオッチ機能：計測単位＝1／100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着タイム計測
そ　の　他：タッチスクリーン、自動復帰機能、モニターアラーム、ELバックライト、12／24時間制表示切り替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS - LSI、EEPROM
使 用 電 池：CR - 2016（電池別途販売）
電 池 寿 命：約2年
（1日当たりアラーム20秒間、ライト1.5秒間使用した場合）

●ライトの使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。
1日当たり7.5秒（1.5秒×5）使用→約1.4年(約16ヶ月)
1日当たり15秒（1.5秒×10）使用→約1.0年(約12ヶ月)

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5 BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（２～３年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●直射日光が長く当たったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ご使用中、万一、液晶部に“CLOSE”と表示されたまま消えないときは、速やかにお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお持ちください。“CLOSE”と表示したまま裏ブタを開けるなど分解しますと、記憶したデータが消えることがあります。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保障期間内でも有料となります。

■消　　耗

●電池が消耗しますと「時計の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」することがあります。

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として、“BATT”マークが表示されます。
このときは速やかに電池交換を行なってください。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。



（テレメモモードのとき）

●電池の消耗時期が近づくと…

メモリーに記憶されているデータを保護するため、データ呼び出し、入力などのメモリーを使用する操作はできなくなるなど、以下の現象が現われます。

〈テレメモ／URLメモモードのときは〉

データ呼び出し、入力などの操作はできません。
（ボタン操作をしても、“BATT”を１～２秒間表示し、空ページ表示となります）
なお、データ入力途中に電池が消耗すると、そのとき入力していたデータは記憶されません。

〈その他〉

アラーム・時報・操作確認音の報音、ライト点灯も行ないません。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。

■お客様へ
電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ
本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は
電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換前のご注意
裏蓋を開けたときに、万一、液晶部に“CLOSE”と表示されているときは、電池を抜き取らず、裏蓋を閉じ、しばらくしてからあらためて裏蓋を開けるところから行なってください。なお、“CLOSE”表示のときに電池交換を行なうと、データ内容が変化したり消えてしまうことがありますのでご注意ください。
※表示が消えているときは問題ありません。

●電池交換後のご注意
電池交換後、裏蓋を閉める前に、必ず、オールクリアー（AC）操作を行なってください。
※オールクリアー操作を行なっても、データが消えることはありません。

●電池交換のご注意
裏蓋を閉めたあと、約20秒経過しても表示が正常に戻らないときは、もう1度裏蓋を開け、オールクリアー（AC）操作を行ってください。

オールクリアー操作を行なうと、内部のデータをチェックするために“WAIT”と表示されます。入力されているデータ数により、5～6分間かかることがあります。なお、“WAIT”表示のときには、時刻修正（22ページ）は行なえますが、それ以外の操作はできませんのでご注意ください。内部でのデータのチェックが終わると、正常に使用できます。



MA9907-000506A